

平成 30 年度 社会福祉法人 宝塚いくせい会 事業報告書

I 総 括

社会福祉法人 宝塚いくせい会は、障害者総合支援法に基づき、知的障害者の障害福祉サービス事業者として多機能型就労継続支援 A 型・B 型事業、単独型短期入所事業及び日中一時支援事業を実施するとともに、就労支援事業として福祉用具の貸与等の介護保険事業を実施しました。

それぞれの事業の運営にあたっては、利用者を尊重し、常に利用者に寄り添ったサービスの提供に心掛けています。

一方、平成 30 年度の短期入所事業の運営にあたっては、女性支援員の事情により長期休業する事象があり、その間の代替職員の確保ができなかったことから施設を一時閉所措置としました。この間、女性の利用者には大変ご迷惑をお掛けしました。

II 経 営 成 績

事業活動計算書（法人全体）

区 分	平成30年度	平成29年度	増 減
事業活動収益	242,208,984 円	244,476,569 円	△ 2,267,585 円
サービス活動収益	239,335,428 円	241,341,481 円	△ 2,006,053 円
サービス活動外収益	2,873,556 円	3,135,088 円	△ 261,532 円
特別利益	0 円	0 円	0 円
事業活動費用	242,918,101 円	230,930,257 円	11,987,844 円
サービス活動費用	238,606,827 円	228,325,925 円	10,280,902 円
サービス活動外費用	4,311,274 円	1,891,603 円	2,419,671 円
特別損失	0 円	712,729 円	△ 712,729 円
差 引	△ 709,117 円	13,546,312 円	△ 14,255,429 円

平成 30 年度の法人全体の事業活動の経営成績は、法人発足以来初めて 709,117 円の赤字計上となりました。その要因は、安倉ホームと ENJOY ハウスの女性職員の特別休業により施設を長期にわたり閉所措置としたことなどから利用者数が大幅に減少し、サービス活動収益中の介護給付費収入が前年度に比べ大きく減少しました。また、安倉ホーム建物の減価償却において残存価格を 10% で償却止めしていたものを 1 円まで償却することとしたことによりサービス活動費用中の減価償却費が約 500 万円増加したこと、及び、昨年度賃貸借契約を破棄した日中一時支援事業所の前賃貸物件の差入保証金 250 万円をサービス活動外費用で損金処理したことによるものです。

Ⅲ 障害福祉サービス事業等の実施

1 多機能型就労継続支援A型・B型事業（宝塚育成事業所）

利用者が自立した日常生活や社会生活を営むことができるように、通所による就労の場を提供するとともに、個別支援計画に基づき、就労や地域生活に必要な知識や能力の向上のための支援を適切に行いました。

(1) 運営状況及び訓練給付費の状況

区分	年度	定員	契約人数	年間延べ開設日数	訓練給付費
A型	平成30年度	12人	12人	239日	19,802,641円
	平成29年度	10人	12人	240日	19,419,880円
	増減	2人	—	△1日	382,761円
B型	平成30年度	15人	15人	239日	24,351,335円
	平成29年度	15人	14人	240日	24,405,752円
	増減	—	1人	△1日	△54,417円

※ 定員、契約人数は、平成31(30)年3月31日現在

※ 平成30年5月と11月にB型利用者各1名と新たに契約し、平成31年1月末に1名が退所しました。

(2) 就労支援事業の状況

① 生産活動業務

区分	業務の内容
A型	(介護保険事業) ・ 介護保険指定事業者として介護福祉用具の貸与、販売業務 ※平成30年度末契約件数 478件(平成29年度末 446件)
B型	(介護保険適用外事業) ・ 介護保険適用外事業として福祉用具の貸与、販売、消毒業務 ※平成30年度末契約件数 479件(平成29年度末 438件) (受託事業) ・ 宝塚市下の池公園維持管理業務 ・ 宝塚市立病院植栽管理業務 ・ 宝塚市医師会、書類配送業務 ・ 各所、除草清掃業務 ・ 各種軽作業請負 (招福縁起物、宝塚牛乳関係、マグネット取付、シール貼り等) ・ 車いす等福祉用具の消毒業務(内部受注を含む) ・ その他自治会等のイベント用物品の運搬業務等

② 就労支援事業収支の状況

区 分		平成 30 年度	平成 29 年度	増 減
A 型	収 益	77,072,372 円	74,534,607 円	2,537,765 円
	費 用	76,898,956 円	74,690,262 円	2,208,694 円
	差 引	173,416 円	△ 155,655 円	329,071 円
B 型	収 益	22,076,289 円	19,751,320 円	2,324,969 円
	費 用	22,035,472 円	19,431,080 円	2,604,392 円
	差 引	40,817 円	320,240 円	△ 279,423 円
合 計	収 益	99,148,661 円	94,285,927 円	4,862,734 円
	費 用	98,934,428 円	94,121,342 円	4,813,086 円
	差 引	214,233 円	164,585 円	49,648 円

平成 30 年度就労支援事業 A 型の介護福祉用具貸与等事業は、173,416 円の黒字収支となり、就労支援事業 B 型の収支についても 40,817 円の黒字となりました。なお、この黒字相当額は、工賃変動積立金に積み立てました。

③ 賃金及び工賃の状況

	年 度	賃 金・工 賃 (賞与を含む)	平均月額賃金・工賃 (賞与を除く)	備 考
A 型	平成 30 年度	12,468,325 円	84,086 円	最低賃金 871 円 適用 5 人
	平成 29 年度	12,229,143 円	83,001 円	最低賃金 844 円 適用 5 人
	増 減	239,182 円	1,085 円	
B 型	平成 30 年度	5,882,170 円	30,930 円	
	平成 29 年度	5,794,335 円	30,002 円	
	増 減	87,835 円	928 円	

平成 30 年度の A 型の平均月額賃金は 84,086 円で、前年度に比べ 1,085 円向上しました。また、最低賃金適用者は前年度と同様の 5 名となっています。また、B 型の平均月額工賃は 30,930 円で、前年度に比べ 928 円向上しました。

④ 固定資産取得状況

- ・介護ベッド購入（備品取得） 75 台 4,980,000 円
 ※ 法人所有の旧タイプの事業用介護ベッドを年次的に更新する。
- ・宝塚育成事業所 ガス給湯器取替 124,200 円

(4) 職員配置状況

区 分	正規(嘱託)職員	臨時職員	合 計
管理者	1 人(他事業と兼務)	—	1 人
サービス管理者(兼生活支援員)	1 人	—	1 人
生活支援員	4 人(他事業と兼務 1 人)	1 人	5 人
職業指導員	3 人	1 人	4 人
事務員	1 人	1 人	2 人
合 計	10 人	3 人	13 人

2 単独型短期入所事業（安倉ホーム・ENJOYハウス・来夢）

近年、利用者の状況については、特に ENJOYハウスの利用者が重度化している傾向にあり、支援員もその対応に苦慮しているのが実情です。

施設の運営については、ENJOYハウスの女性対応支援員が5月から7月の3カ月、安倉ホームの女性対応支援員が11月の1カ月、それぞれ特別休業となり、その間施設を閉所しました。

平成30年度は、新たに7人(男性3人、女性4人)と利用契約を締結し、サービスの提供を始めました。

(1) 短期入所運営状況

【安倉ホーム(男性対応)】

区 分	平成30年度	平成29年度	増 減	備 考
定 員	4 人	4 人	—	
年間開設日	238 日	239 日	△ 1 日	
年間利用者(実数)	20 人	21 人	△ 1 人	
年間延べ利用者	770 人	734 人	36 人	
平均利用者数/日	3.2 人/日	3.1 人/日	0.1 人/日	

【安倉ホーム(女性対応)】

区 分	平成30年度	平成29年度	増 減	備 考
定 員	4 人	4 人	—	
年間開設日	199 日	221 日	△ 22 日	職員の休業による
年間利用者(実数)	15 人	14 人	1 人	
年間延べ利用者	431 人	561 人	△ 130 人	
平均利用者数/日	2.2 人/日	2.5 人/日	△ 0.3 人/日	

【ENJOYハウス(男性対応)】

区 分	平成30年度	平成29年度	増 減	備 考
定 員	4 人	4 人	—	
年間開設日	233 日	234 日	△ 1 日	
年間利用者(実数)	25 人	25 人	—	
年間延べ利用者	819 人	813 人	6 人	
平均利用者数/日	3.5 人/日	3.5 人/日	—	

【ENJOYハウス(女性対応)】

区 分	平成30年度	平成29年度	増 減	備 考
定 員	3 人	3 人	—	
年間開設日	151 日	213 日	△ 62 日	職員の休業による
年間利用者(実数)	19 人	19 人	—	
年間延べ利用者	332 人	504 人	△ 172 人	
平均利用者数/日	2.2 人/日	2.4 人/日	△ 0.2 人/日	

【来夢(男性対応)】

区 分	平成 30 年度	平成 29 年度	増 減	備 考
定 員	4 人	4 人	－	
年間開設日	237 日	239 日	△ 2 日	
年間利用者(実数)	11 人	11 人	－	
年間延べ利用者	738 人	740 人	△ 2 人	
平均利用者数/日	3.1 人/日	3.1 人/日	－	

※ 定員とは別に緊急時受入枠 1 人

(2) 安倉ホーム スプリンクラー未設置に係る対応について

短期入所施設のスプリンクラー設置基準は、消防法の運用により、障害支援区分 4 以上の利用者の利用割合が 80%を超える場合を設置要件としていることから、施設の利用割合が 80%未満となるように運用しています。

なお、平成 30 年度の利用割合は、次のとおりです。

	開設日延べ定員	障害支援区分 4 以上		障害支援区分 3 以下	
		延べ利用者数	比 率	延べ利用者数	比 率
安倉ホーム (男子)	956 人	703 人	73.5 %	67 人	7.0 %
安倉ホーム (女子)	796 人	417 人	52.4 %	14 人	1.8 %
計	1,752 人	1,120 人	63.9 %	81 人	4.6 %

(3) 介護給付費の状況

区 分	平成 30 年度	平成 29 年度	増 減	備 考
安倉ホーム	21,767,753 円	23,895,456 円	△ 2,127,703 円	女性 1 カ月閉所
ENJOY ハウス	22,343,557 円	26,224,944 円	△ 3,881,387 円	女性 3 カ月閉所
来 夢	11,329,197 円	11,596,256 円	△ 267,059 円	
合 計	55,440,507 円	61,716,656 円	△ 6,797,287 円	

(4) 職員配置状況

区 分	正規(嘱託)職員	臨時職員	合 計
管理者	3 人(生活支援員を兼務)	－	3 人
生活支援員	4 人(他事業と兼務 1 人)	1 人	5 人
調理員(安倉ホーム、来夢)	－	3 人	3 人
添乗員(ENJOY ハウス)	－	3 人	3 人
合 計	7 人	7 人	14 人

3 日中一時支援事業（つばさ&ミッキー）

日中一時支援事業は、宝塚市の地域生活支援事業の一時預かり事業として学校の放課後や施設利用後の日中における活動の場を提供し、また、学校の長期休業期間中は「ミッキー」と称して、日中における活動の場を提供しています。

平成30年度は、新たに5名(男児3名、女児2名)の学齢児童と利用契約を締結し、サービスの提供を始めました。

(1) つばさ・ミッキー 運営状況

区 分	平成30年度	平成29年度	増 減	備 考
定員	15人	15人	0人	
延べ開設日	237日	243日	△6日	
年間利用者(実数)	76人	69人	7人	年度中での区分変更 平成30年度4人 平成29年度5人
学齢児童	42人	40人		
成人(18歳以上)	38人	34人		
年間延べ利用者	695人	661人	34人	
学齢児童	304人	353人	△49人	
成人(18歳以上)	391人	308人	83人	
年間延べ利用時間	16,637時間	16,887時間	△250時間	
学齢児童	7,594時間	9,742時間	△2,148時間	
成人(18歳以上)	9,043時間	7,145時間	1,898時間	
平均利用者数/日	14.5人	13.8人	△0.7人	

※ ここでいう成人とは18歳以上をいい、通常、自己負担金が0円となる利用者です。

※ 平成30年度中の利用者は、男性61人、女性15人の76人です。

(2) 受託事業収益の状況

区 分	平成30年度	平成29年度	増 減	備 考
宝塚市受託事業収益	26,687,127円	26,719,403円	△32,276円	

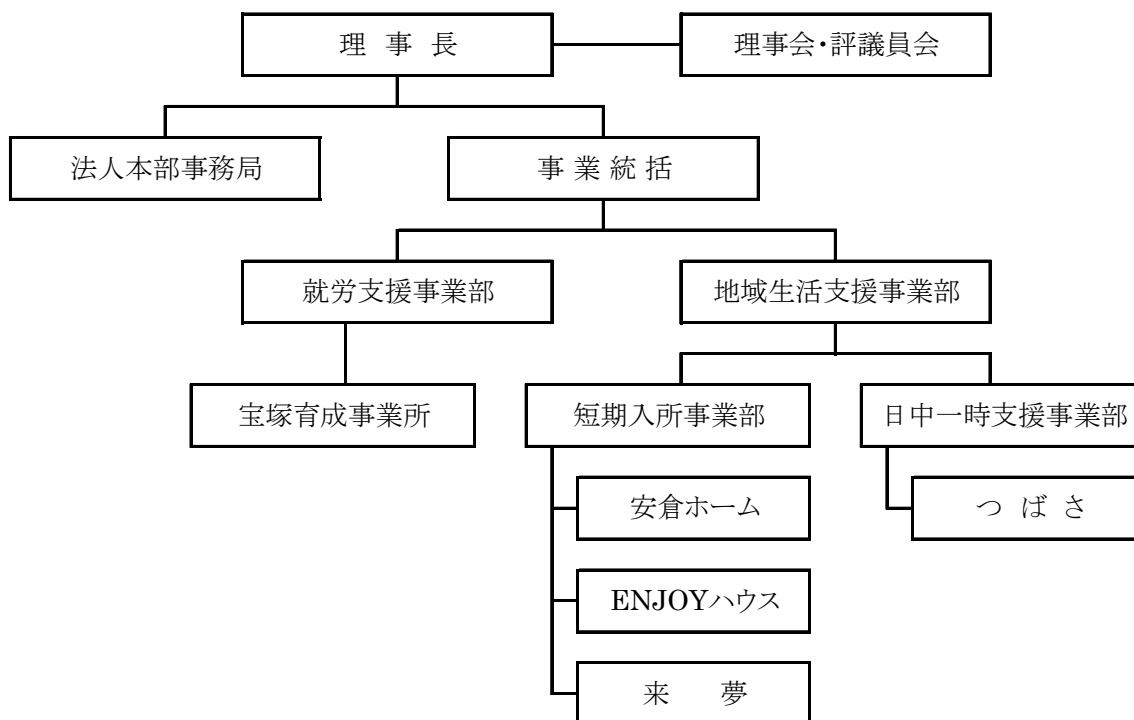
(2) 職員配置状況

区 分	正規(嘱託)職員	臨時職員	合 計
管理者	1人(他事業と兼務)	—	1人
生活支援員	3人	24人	27人
合 計	4人	24人	28人

※ 臨時職員の1カ月あたりの従事者は、9人から13人となっている。

IV 法人の状況及び運営等

1 法人の組織



2 職員の状況

区 分	平成 30 年 4 月 1 日	雇 用	退 職	平成 31 年 3 月 31 日
正規職員	15 人	—	—	15 人
男性	8 人	—	—	8 人
女性	7 人	—	—	7 人
嘱託職員	6 人	—	—	6 人
男性	4 人	—	—	4 人
女性	2 人	—	—	2 人
臨時職員	10 人	3 人	2 人	11 人
男性	3 人	1 人	—	4 人
女性	7 人	2 人	2 人	7 人
合 計	31 人	3 人	2 人	32 人
男性	15 人	1 人	—	16 人
女性	16 人	2 人	2 人	16 人

※ 臨時職員は、雇用契約を締結している職員に限る。

3 役員等の選任状況について

① 役員（理事及び監事）

選任日	平成 29 年 6 月 26 日
任 期	(自) 平成 29 年 6 月 27 日 (至) 令和元年 6 月開催の定時評議員会終結時まで
(敬称略、五十音別)	
理 事	浅山 みゆき
理 事	植戸 貴子
理 事	大野 セツ子
理 事	小原 正義
理 事	小原 冷子
理 事	山本 洋子
監 事	佐藤 寿一
監 事	染川 智香

② 評議員

選任日	平成 29 年 4 月 1 日
任 期	(自) 平成 29 年 4 月 1 日 (至) 令和 2 年 6 月開催の定時評議員会終結時まで
(敬称略、五十音別)	
評議員	今西 則行
評議員	鵜澤 靖
評議員	久保 明子
評議員	中田 雅子
評議員	紅山 修
評議員	村瀬 一郎
評議員	山田 精一

4 理事会及び評議員会の開催状況

会議の名称	第1回 理事会
開催日時	平成30年5月31日(木) 15時～16時50分
開催場所	宝塚市総合福祉センター
出席者数	出席理事 6名、出席監事 2名
議 題	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度事業報告及び決算に係る計算書類等の承認について ・評議員会の招集について
会議の名称	評議員会(定時評議員会)
開催日時	平成30年6月27日(水) 14時～15時30分
開催場所	宝塚市総合福祉センター
出席者数	出席評議員 4名(欠席評議員 3名)、出席理事 2名、出席監事 2名
議 題	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度事業報告及び決算の承認について
会議の名称	第2回 理事会
開催日時	平成30年8月29日(木) 14時～15時20分
開催場所	宝塚市総合福祉センター
出席者数	出席理事 6名、出席監事 2名
議 題	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度資金収支予算(第1回補正予算)について ・平成30年度第1四半期の業務執行状況について ・苦情対応規程の改正及び第三者委員の選任について
会議の名称	第3回 理事会
開催日時	平成30年12月6日(木) 14時～15時40分
開催場所	宝塚市総合福祉センター
出席者数	出席理事 4名(欠席理事 2名)、出席監事 2名
議 題	<ul style="list-style-type: none"> ・短期入所事業に係る運営規程等の改正について ・平成30年度第2四半期の業務執行状況について
会議の名称	第4回 理事会
開催日時	平成31年2月21日(木) 14時～15時40分
開催場所	宝塚市総合福祉センター
出席者数	出席理事 5名(欠席理事 1名)、出席監事 2名
議 題	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度第3四半期業務執行状況について ・今後の事業運営について
会議の名称	第5回 理事会
開催日時	平成31年3月29日(金) 17時～18時30分
開催場所	宝塚市総合福祉センター
出席者数	出席理事 5名(欠席理事 1名)、出席監事 2名
議 題	<ul style="list-style-type: none"> ・2019年度事業計画及び資金収支予算(当初予算)について

5 内部委員会等の開催状況

委員会名	主 な 内 容	開催頻度
運営委員会	理事会、評議員会の上程議案や法人及び施設の運営に係る重要事項の検討 (人事配置、事業の展開、施設改修、新規施設設置、職員研修計画、中長期事業計画等)	月 1 回
業務評価・改善委員会	就労継続支援事業部門、短期入所事業部門、日中一時支援事業部門の取組状況や業務の改善策、ヒヤリハット事例の事象等について情報の共有と意見交換の実施	月 1 回
短期入所連絡会	ENJOY ハウス、安倉ホーム、来夢の課題の抽出やサービスの提供のあり方等の検討	2 カ月に 1 回

6 職員研修及びリスク管理

(1) 職員研修

利用者支援に係る専門的研修を通じて職員一人一人の支援力の充実に努め、職員が均等に研修を受けることのできる環境づくりの必要性を認識していますが、変則勤務の職場もあり、研修の機会均等を設けることが困難な状況にあります。

平成 30 年度は、次の研修事業を実施しました。

【主な研修事業】

平成 30 年 4 月	・福祉用具バリアフリー展（宝塚育成事業所職員）
5 月	・高度管理医療機器等販売に係る継続研修（宝塚育成事業所職員）
11 月	・福祉機器販売事業者研修会（宝塚育成事業所職員）
平成 31 年 1 月	・リスクマネジメント研修（宝塚いくせい会職員） ・宝塚障害者就労支援ネットワーク研修会（宝塚育成事業所職員）
2 月	・施設保育士養成協議会研究会（宝塚育成事業所職員）
3 月	・障害者総合支援法事業者説明会（関係職員）

(2) リスク管理

支援活動中に遭遇するヒヤリ・ハット事例については、その情報を部門間を超えて一元化し、情報の共有と今後の支援活動に生かせるように取り組んでいますが、支援員の意識管理が最も重要であることから業務評価・改善委員会で絶えず確認するように徹底しています。

また、利用者の行方不明事案に適切且つ迅速に対応できるように、行方不明対応マニュアルとフェイスシートの作成にも取り組んでいます。

7 その他の取組み

- (1) 平成 30 年 9 月 4 日(火)は台風 21 号の接近により、全事業所を閉所としました。
- (2) 善意銀行（宝塚市社会福祉協議会）より、宝塚育成事業所、ENJOY ハウス、安倉ホーム、来夢に対してそれぞれ 30,000 円の配分金をいただき、それぞれの施設の利用者の福利厚生経費に充当させていただきました。
- (3) 宝塚市共同募金委員会（宝塚市社会福祉協議会）より「歳末助けあい愛の持ち寄り運動」募金の施設・団体配分金として 100,000 円の配分を受け、一般社団法人宝塚市手をつなぐ育成会との共催で地域交流事業の「いくせい会まつり」を開催しました。
- ・開催日時：平成 31 年 2 月 16 日（土）11:00～14:00
 - ・開催場所：宝塚市総合福祉センター
 - ・参加者数：約 400 名
- (4) 防災及び福利厚生の取組み

時 期	防 災 の 取 組 み	福 利 厚 生 の 取 組 み
平成 30 年 4 月	・安倉ホーム 消防避難訓練	
5 月	・宝塚育成事業所 消防避難訓練	
6 月	・宝塚育成事業所 消防設備点検 ・来夢・つばさ 消防設備点検	・職員及び宝塚育成事業所利用者 健康診断
7 月	・ENJOY ハウス 消防設備点検 ・安倉ホーム 消防設備点検	・宝塚育成事業所利用者 ハッピーデイ
9 月		・宝塚育成事業所利用者 親睦旅行 (福井県方面)
10 月	・宝塚育成事業所 消防避難訓練	
11 月		・職員及び宝塚育成事業所利用者 インフルエンザ予防接種 ・宝塚育成事業所利用者 ハッピーデイ ・宝塚市障害者運動会(キャピリンピック)
12 月		・宝塚育成事業所利用者 忘年会
平成 31 年 1 月	・宝塚育成事業所 消防設備点検 ・来夢・つばさ 消防設備点検 ・ENJOY ハウス 消防設備点検	
2 月	・宝塚育成事業所 消防避難訓練 ・ENJOY ハウス 消防避難訓練 (ワークプラザ宝塚・いきいき宝夢 合同訓練)	・宝塚育成事業所利用者 ハッピーデイ